

中学生が水泳・陸上・卓球で 全国・関東大会に出場

水泳では、石毛由貴さん（二中・3年）が県大会で、全国標準記録を突破し、8月21日から三重県で開かれた全国中学校水泳競技大会女子背泳ぎ100m・200mに出場しました。筋力トレーニングなども取り入れ、記録も上昇中の中、大会に臨みましたが、惜しくも決勝進出は逃しました。

このほかに8月に開催された関東大会で陸上2年女子100mに江ヶ崎友さん（二中・2年）が出場、決勝に進出し6位入賞。また同じく陸上共通女子800mに伊藤愛さん（二中・2年）、共通男子砲丸投に桐谷尚宏君（海上中・3年）もそれぞれ出場しましたが、決勝進出は果たせませんでした。また、卓球では角崎瞳さん（二中・2年）が個人戦に出場、初戦は突破しましたが、惜しくも2回戦で敗れてしまいました。



石毛由貴さん
(二中・3年)



江ヶ崎友さん
(二中・2年)



桐谷尚宏君
(海上中・3年)



伊藤愛さん
(二中・2年)



角崎瞳さん
(二中・2年)



▲就任あいさつする役員の方々

旭市体育協会が「設立総会」を開催

7月1日に誕生した旭市体育協会が8月24日、いいおかユートピアセンターで設立総会を開催しました。初代会長に選出された柴武利会長は、種目別協会の活発な活動が体育協会の発展につながると紹介。また、合併を一層強固なものにしていきたいとあいさつしました。総会では、正副会長、監事が選出されたほか、事業計画、予算が決定し、正式に旭市体育協会がスタートしました。

平松浜区が優勝

—飯岡地域壮年ソフトボール大会—

8月21日、28日の2日間、塙ソフトボール球場を会場に17チームが参加して、飯岡地域壮年ソフトボール大会が開かれました。どの試合も、好プレーや思わず笑ってしまうプレーなども飛び出し、和やかな雰囲気の中で大会は進みました。

決勝戦は、共に打撃が好調な平松浜区対永井岡区との対戦となりました。打撃戦が予想されましたが、1対0で平松浜区が接戦を制しました。



助役に 重田雅行さんが就任

9月定例会市議会初日の9月21日、助役に県議員の重田雅行さん（千葉市）を選任することについて市議会の同意を得て、9月22日就任されました。重田助役は、県企業庁管理部企業総務課長、教育庁教育振興部生涯学習課長などを歴任されています。



監査委員に加瀬実さんが 選任されました

9月21日開催された9月定例会市議会で同意を得て、加瀬実議員（二）が同日、監査委員に選任されました。加瀬委員は地方自治法第196条に規定されている「議員のうちから選任する委員」として選ばれています。



飯岡FC・Aが優勝

—第11回東総しおさいカップ大会—

市内外から16チームが参加して9月11日、「いいおかふれあいスポーツ公園」で開催された「しおさいカップ」。高学年の部では地元、飯岡FC・Aがトーナメントを勝ち上がり、決勝戦では海上FC（銚子市）を1対0で破り、見事優勝を飾りました。飯岡FC・Aは全試合失点0という素晴らしい内容の試合をしました。また、低学年の部では、飯沼FC（銚子市）が優勝をしています。



優勝した飯岡FC・Aのメンバー

もしものとき、助かる命を助けるために 「あなたにもできる心肺蘇生法」



救急の日の9月9日に合わせて、心肺蘇生法の実演と実技を行う講習会が旭中央病院で開かれました。実技に参加した見学者は、病院職員や救急隊員から

アドバイスを受けながら、心肺蘇生法を実際に体験。また今回は、小児科の先生が参加して、乳幼児など子どもの心肺蘇生法についても実演と実技が行われました。

地域が先生

干潟中生徒が職業体験



地域の大人が先生になって、子どもたちに仕事を体験してもらおう職業体験学習に、干潟中2年生81人が挑戦。8月22日から24日までの3日間、市内の事業所や農家などの協力を得て行われました。米作り農家では、4人の中学生が新米を入れる袋に生産者や米の品種名をスタンプで押す作業など、田んぼや畑での作業だけではない農家の仕事を体験していました。